

令和6年3月27日

青森市政記者会 様

青森市企画部企画調整課長

青森公立大学国際芸術センター青森（ACAC）新館長の就任について（情報提供）

このことについて、青森公立大学国際芸術センター青森（ACAC）から別添資料のとおり情報提供がありましたのでお知らせします。

なお、詳細につきましては、別添資料の青森公立大学国際芸術センター青森（ACAC）の担当者にご連絡くださるようお願いいたします。

**【担当】**

青森市企画部企画調整課

主幹 工藤、主事 佐藤

TEL : 017-734-2247 FAX : 017-734-5129

青 公 大 総 号 外  
2024 年 3 月 27 日

青森市政記者会 様

公立大学法人 青森公立大学  
理事長 石川浩明  
(公印省略)

青森公立大学国際芸術センター青森（ACAC）新館長の就任について

2024 年 4 月 1 日より、青森国際芸術センター青森（ACAC）新館長として服部浩之氏（キュレーター、東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻准教授）が就任することとなりましたのでお知らせします。

【詳細は別紙の通り】

【お問合せ】

青森公立大学国際芸術センター青森（ACAC）

担当 大久保

TEL:017-764-5200

## 青森公立大学 国際芸術センター青森 [ACAC] 新館長の就任について

2024年3月26日

2024年4月1日より、青森公立大学 国際芸術センター青森 [ACAC] 館長として服部浩之氏（キュレーター、東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻准教授）が就任することとなりました。ACACは、服部新館長とともにこれからも、多様な表現の実験場として、国内外のアーティストをはじめとする表現者たち、そして地域住民や学生をはじめとする人びとが集い、創造的なネットワークが地域内外へと波及する「中心（センター）」となることを目指してまいります。



服部浩之 HATTORI Hiroyuki

### 【館長就任にあたって】

2001年に開館した国際芸術センター青森は、2009年以降は青森公立大学の施設として、アーティスト・イン・レジデンスを中心に置き、教育研究と国際交流や地域文化交流、人材育成を推進し幅広いプログラムを展開してきました。滞在制作を経験したたくさんのアーティストが国際的に活躍するACACは、唯一無二のアートセンターとして重要な役割を担っていると思います。私にとってACACは30代の6年半を学芸員として勤務し、様々なことを学び経験した大切な場所です。青森という土地やここで暮らす人に色々な刺激を受け、世界の見え方が大きく変わりました。青森県は多彩な芸術文化機関がある現代芸術シーンを牽引する地域です。お隣秋田県の秋田公立美術大学にいたときは、青森の多彩な芸術シーンを非常に眩しく感じ、学生たちと度々青森を訪れていました。今回、国際芸術センター青森 [ACAC] の館長として再び青森という地域に関わり、そのアートシーンに参加できることを大変光栄に感じています。青森の芸術文化を多くの人と一緒に築き、新しい表現を世に送り出していくことに貢献していきたいです。（服部浩之）

お問合せ 青森公立大学 国際芸術センター青森 [ACAC]

address: 030-0134 青森市合子沢字山崎 152-6

tel: 017-764-5200 fax: 017-764-5201

web: <http://www.acac-aomori.jp/>

e-mail: acac-1@acac-aomori.jp



## 【服部浩之プロフィール】

キュレーター。2006年、早稲田大学大学院修了（建築学）。2006年より秋吉台国際芸術村に3年半、国際芸術センター青森に6年半勤務し、約10年間アーティスト・イン・レジデンスを中心に、展覧会やアートプロジェクトの企画運営に従事する。2017年より秋田公立美術大学美術学部アーツ&ルーツ専攻・大学院複合芸術研究科准教授、2021年より現在まで東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻准教授。アートセンターや教育機関を軸とし、公共性・commons・横断性などをキーワードに様々な表現者との協働を軸にしたプロジェクトを展開。近年携わった企画に、アートサイト名古屋城 2023「想像の復元」（2023年、名古屋城）、「200年をたがやす」（2021年、秋田市文化創造館）、第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館展示「Cosmo-Eggs|宇宙の卵」（2019年）、「近くへの遠回り」（2018年、ウィフレッド・ラム現代美術センター）、あいちトリエンナーレ 2016「虹のキャラバンサライ 創造する人間の旅」（2016年、愛知県美術館ほか）など。

## 【ACAC 次回展予告】

## 展覧会「currents / undercurrents —いま、めくるめく流れは出会って—」

前期：2024年4月13日（土）－6月30日（日）

後期：2024年7月13日（土）－9月29日（日） 10:00-18:00 ※会期中無休、入場無料



参加作家 Jumana Emil ABBOUD（ジュマナ・エミル・アブード）、青野文昭、岩根愛、是恒さくら、工藤省治、光岡幸一、中嶋幸治、澤田教一、鈴木正治、Jasmine TOGO-BRISBY（ジャスミン・トゴ＝ブリスビー）、Robin WHITE（ロビン・ホワイト）、後期のみ：アイヌの衣服（青森市教育委員会所蔵）

会場構成 山川陸

キュレーター 慶野結香

岩根愛《The Opening》2022年 © Ai Iwane

「現在」という意味をもちながら、海流や気流をはじめとして、ある一定の方向に動く水や空気、電流などの変わり続ける流れを示す「current」と、表面や他の流れの下にある目に見え難い流れや暗示を意味する「undercurrent」をキーワードとして、ある場所とかわり合いながら表現をつむぎ出す国内外のアーティスト、そして青森ゆかりの表現者たちによる作品が集います。前期と後期の出展作家は同じですが、会期半ばで展示替えをし、異なる2つの展覧会を行うことで、一回限りでない場所への働きかけや、変化し続ける「いま」をこの場に取り込むことを試みます。（「AOMORI GOKAN アートフェス 2024『つらなりのはらっぱ』」メイン企画の一つとして開催）

お問い合わせ 青森公立大学 国際芸術センター青森 [ACAC]

address: 030-0134 青森市合子沢字山崎 152-6

tel: 017-764-5200 fax: 017-764-5201

web: <http://www.acac-aomori.jp/>

e-mail: acac-1@acac-aomori.jp

